

## 令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	診療情報管理士学科		2年
科 目 名	臨床医学各論 A	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	非常勤講師
時 間 数	前期：26時間 / 後期：31時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	<p>感染症の原因となる細菌、ウイルスなどについての知識を修得し、各感染症の特徴、症状・所見、診断法、治療などの知識を深め、感染症患者の各種診療記録の内容を理解できること。</p> <p>新生物の発生組織・臓器、良性・悪性、原発性・続発性、転移性等新生物の概要を理解するとともに、わが国における主要な新生物を中心に、新生物の多彩な診断法、治療法を学び適切な ICD 分類に結びつく基本的知識を修得すること。</p> <p>感染症および寄生虫症、新生物の疾患について講義</p> <p>血液・造血器、栄養・代謝、内分泌系等の障害により、病態が全身に関わる各疾病について理解できること。</p>		
目指す検定・資格	診療情報管理士認定試験（国家資格に準拠）・診療情報管理士		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	座学を中心に行い、人体の構造、疾病について理解する。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	<p>原因別、部位別等に分類されている疾病について、その分類の意味とその原因、症状、所見、診断根拠、治療法などの概要を理解し、適切な ICD コーディングにつながる基礎知識を修得すること。</p> <p>感染症および寄生虫症</p>	<p>血液・造血器、栄養・代謝、内分泌系等の疾患の特徴と症状・所見、診断法、治療法等を学ぶことを目的とする。</p> <p>新生物</p> <p>血液・代謝・内分泌等</p>	
到 達 目 標	診療情報管理士認定資格取得	診療情報管理士認定資格取得	
成 績 評 価 方 法	期末試験（95%）出欠席（5%）で評価をつける。	期末試験（95%）出欠席（5%）で評価をつける。	
テ キ ス ト ・ 副 読 本	診療情報管理士テキスト、診療情報管理 I 4章臨床医学各論 I (感染症および寄生虫症)	診療情報管理士テキスト、診療情報管理 I 5章臨床医学各論 II (新生物) 6章臨床医学各論 III (血液・代謝・内分泌等)	

## 令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	診療情報管理士学科		2年
科 目 名	臨床医学各論 B	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	非常勤医師
時 間 数	前期：28時間 / 後期：28時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	<p>部位別、臓器別疾病分類の各疾病について、その特徴、症状・所見、診断法、治療法の概要を学び、各種診療記録の記載などを理解し、適切な病歴診断名につなげる知識の修得を目的とする。循環器系の疾患・呼吸器系の疾患について、の特徴、症状・所見、診断法、治療法の概要を学ぶ。消化器系の疾患・腎尿路生殖器系の疾患について、その特徴、症状・所見、診断法、治療法の概要を学ぶ。</p>		
目指す検定・資格	診療情報管理士認定試験（国家資格に準拠）・診療情報		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	座学を中心に行い、人体の構造、疾病について理解する。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	脳と神経の疾患、眼、耳、精神および行動の障害など感覚系疾患について学ぶ。	循環器・呼吸器、消化器、泌尿器系について学ぶ。	
到 達 目 標	診療情報管理士認定資格取得	診療情報管理士認定資格取得	
成 績 評 価 方 法	期末試験（95%）出欠席（5%）で評価をつける。	期末試験（95%）出欠席（5%）で評価をつける。	
テ キ ス ト ・ 副 読 本	診療情報管理士テキスト、問題集 診療情報管理 I 7章臨床医学各論IV （精神・脳神経・感覚器系統）	診療情報管理士テキスト、問題集 診療情報管理 I 8章臨床医学各論V(循環器・呼吸器系) 9章臨床医学各論VI(消化器・泌尿器系)	

## 令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	診療情報管理士学科		2 年
科 目 名	診療情報管理演習Ⅱ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	寺延 美恵子
時 間 数	前期：53時間 / 後期：36時間	実務経験：長年にわたり3病院で勤務し院長秘書、診療情報管理部門を担当業務の中で新築・開院等の大きなイベント、電子カルテシステム構築に参画等貴重な実務経験を活かし基礎・基本的な理解、様々な出合で知り得る楽しさ等育めるように講義する。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	基礎医学の人体構造(解剖生理)、医学各論等で学習した知識を生かし、国際疾病分類概論の学習内容と関連付けながら、国際疾病分類(ICD-10)各章の疾病分類体系を学習する。 コーディングのための理論と基本的な技法を習得するとともに、頻度の高い疾病、疾病コードの特異的なものを中心に、補助コード等の演習も行い、さらなる技術習得とコーディング活用能力を向上させる。(第1章～第21章 演習問題(ICD-10付与)、退院時要約、原死因選択、解説)		
目 指 す 検 定 ・ 資 格	診療情報管理士認定試験(国家資格に準拠)・診療情報管理士		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	各章の特徴を踏まえて、統計として正しい分類ができるように理解を深める。さらに、退院時要約や死亡診断書等を用いて診療記録の記載内容を読み把握し、主傷病名等の診断名および原死因の統計上必要な分類コードを正確に選択できる知識を習得する。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	1章～21章の代表的な30～35傷病名にICD-10コードを付与する。 正確、適正なコード付与の技法を習得する。	1章～21章の退院時要約各1症例を学習。 コーディングの適正なルールを理解する。 退院時要約を読み、主傷病名、副傷病名、ICD-10コードを付与、医療行為には順位のあることに注意をする。	
到 達 目 標	診療情報管理士認定資格取得	診療情報管理士認定資格取得	
成 績 評 価 方 法	期末試験(95%)出欠席(5%)で評価をつける。	期末試験(95%)出欠席(5%)で評価をつける。	
テ キ ス ト ・ 副 読 本	診療情報管理士テキスト・問題集 診療情報管理Ⅳ	診療情報管理士テキスト・問題集 診療情報管理Ⅳ	

## 令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	診療情報管理士学科		2年
科 目 名	プレゼンテーション演習	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	富川 真也
時 間 数	前期：44時間 / 後期：39時間	実務経験：医療機関にて、医療事務（12年）・医療秘書（8年）現場での経験がある。診断書作成や秘書としてパソコン入力の経験があり、それを活かした授業をする。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	診療情報管理学会や医療機関に勤務に際して、適切なプレゼンテーションが行えるようにする。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	プレゼンテーション原稿作り パワーポイントの作成技術の習得 プレゼンテーションの体験学習		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	プレゼンテーションの技術習得	プレゼンテーションの技術習得	
到 達 目 標	クラス内発表で一定レベル以上技術取得	クラス内発表で一定レベル以上技術取得	
成 績 評 価 方 法	期末試験問題（95%）出欠席（5%）で評価をつける。	実技試験（95%）、出欠席（5%）で評価をつける。	
テキスト・副読本	MOS PowerPoint2016 対策テキスト&問題集		

## 令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	診療情報管理士学科		2 年
科 目 名	診療情報管理 I・III	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	寺延 美恵子
時 間 数	前期：15 時間 / 後期：15 時間	実務経験：長年にわたり 3 病院で勤務し院長秘書、診療情報管理部門を担当業務の中で新築・開院等の大きなイベント、電子カルテシステム構築に参画等貴重な実務経験を活かし基礎・基本的な理解、様々な出合で知り得る楽しさ等育めるように講義する。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	診療情報管理を実施するための基礎として診療情報の重要性を理解し、診療情報を適切に取り扱い、責任ある診療情報管理を行う能力を身に付ける。 診療情報管理の意義と役割について統計的に学習するとともに、診療情報管理に関わる法令や諸規則を含め、診療情報の記録方法が機能的にどのような構成やルールで行われているかについて学ぶ。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格	診療情報管理士認定試験（国家資格に準拠）・診療情報管理士		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	診療情報管理士の専門性について理解し、医療に貢献する診療情報管理を実践していくための能力の基礎を身に付ける。診療情報管理を実施する場で容易に想起され、応用可能な基礎知識を習得する。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	診療情報管理を実施するための基礎として診療情報の重要性を理解し、診療情報を適切に取り扱い責任ある情報管理を行う能力を身に付ける。	診療情報管理士の専門性について理解し、医療に貢献する診療情報管理を実践していくための能力の基礎を身に付ける。	
到 達 目 標	診療情報管理士認定資格取得	診療情報管理士認定資格取得	
成 績 評 価 方 法	期末試験（95%）出欠席（5%）で評価をつける。	期末試験（95%）出欠席（5%）で評価をつける。	
テ キ ス ト ・ 副 読 本	診療情報管理士テキスト 診療情報管理 IV 8 章 診療情報管理 I	診療情報管理士テキスト 診療情報管理 IV 9 章 診療情報管理 II	

## 令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	診療情報管理士学科		2年
科 目 名	医事コンピュータ演習	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	結城 和子
時 間 数	前期：34時間 / 後期：30時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	外来・入院の出来高算定から DPC 算定まで、医事会計ソフトを活用して会計入力を実践的に学ぶ。また、電子カルテの基本的な操作を学習する。		
目指す検定・資格	特になし		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	ケア&コミュニケーションが提供するソフトウェア「医事 Navi」を使用し実習する。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	外来カルテより各患者の一月分の会計入力を行い、正確にレセプト作成を行う。入院会計入力では、バッチ処理での入力を実践し、各患者一月分の会計入力から正確なレセプトを作成する。	電子カルテの仕組みを学習し、入力練習を行う。また、DPC の仕組みについて、会計入力を通じて復習する。	
到 達 目 標	学習用ソフト「医事ナビ」を使用して、保険証登録から外来・入院の会計入力をマスターする。	入院のバッチ処理、DPC 入力、電子カルテ入力の基本的なスキルを身につける。	
成 績 評 価 方 法	期末試験（95%）出欠席（5%）で評価をつける。	期末試験（95%）出欠席（5%）で評価をつける。	
テ キ ス ト ・ 副 読 本	テキスト：(1) コンピュータ入力練習用 カルテ例題集 2023	テキスト：(1) コンピュータ入力練習用 カルテ例題集 2023 テキスト：(2) DPC の理解と演習 2023 テキスト：(3) 電子カルテシステムの 理解と演習 2023	

## 令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	診療管理士学科		2 年
科 目 名	Excel 演習Ⅱ	科 目 区 分	一般科目・専門科目
開 講 期	前期・後期 通年	担 当 教 員	浅野 文章
時 間 数	前期：69 時間 / 後期：22 時間	病院で6年間、診療報酬請求、医師事務作業補助、診療録管理等の業務経験を活かし、医療機関での就職に必要な知識・技術を習得できるよう講義する。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	社会で幅広く活用されている「EXCEL」をあらゆるビジネスシーンで活用できるように、Microsoft Office Specialist の Excel 2016 Expert 検定取得を目指し、幅広く EXCEL の活用ができる人材育成を目的とした内容とする。		
目指す検定・資格	Microsoft Office Specialist Excel 2016 Expert		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	Microsoft Office Specialist Excel 2016 Expert の検定指導を基盤に指導を行う。その後、EXCEL の応用操作として、効果的なグラフ表現方法やデータベース機能の活用、ピボットテーブルを用いたクロス集計などができるようになる。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブックのオプションと設定の管理</li> <li>ユーザー定義の表示形式やレイアウトの適用</li> <li>高度な機能を使用した数式の作成</li> <li>高度な機能を使用したグラフやテーブルの作成</li> <li>模擬試験</li> </ul>	用途に応じたグラフ選び、また、データベース機能の活用などの応用力を演習問題で身に付ける。	
到 達 目 標	Microsoft Office Specialist Excel 2016 Expert の模擬試験合格レベルに達する。	最終的にはデータから適切なグラフを作成することができ、ピボットテーブルを用いたクロス集計まで EXCEL を自在に使える力を身に付ける。	
成 績 評 価 方 法	期末試験 (95%)、出欠席 (5%)	課題および検定結果 (95%)、出欠席 (5%)	
テ キ ス ト ・ 副 読 本	よくわかるマスター MOS Excel 365&2019 Expert 対策テキスト&問題集	よくわかるマスター MOS Excel 365&2019 Expert 対策テキスト&問題集	

## 令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	診療情報管理士学科		2年
科 目 名	保険請求事務Ⅱ（医科）	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	結城 和子
時 間 数	前期： 34時間 / 後期： 時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	診療報酬明細書に記載された処置、検査、手術等の診療行為と、病名の適合性を検討し、レセプトチェック業務を理解する。		
目指す検定・資格	診療報酬請求事務能力認定試験		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	診療報酬明細書を見ながら講義を行い、レセプト点検の考え方、検査や薬剤について適応病名を意識できるようになり、現場で働くにあたって必要な知識を養う。		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	医療機関の収入を左右する、レセプト（診療報酬明細書）業務を中心に学習する。1年次においては診療録から診療報酬明細書を作成することを目的としていたが、本講義においては作成された診療報酬明細書を見るポイントを学ぶ。		
到 達 目 標	診療報酬請求事務能力認定試験		
成 績 評 価 方 法	期末試験/確認テスト（95%）出欠席（5%）で評価をつける。		
テキスト・副読本	プリント配布		



## 令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	診療情報管理士学科		2年
科 目 名	ドクターズクラーク	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	結城 和子
時 間 数	前期： 46時間 / 後期：時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	医師事務作業負担軽減のため、書類補助業務の知識を習得する 医師事務作業補助技能認定試験の取得に向け学習する		
目指す検定・資格	医師事務作業補助技能認定試験		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	1年次で学習した各種医療文書の意味を理解し、文書内に求められる表現方法を習得する。検定取得に向けて、学科問題対策と実技の演習を行う。		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	医療秘書としての役割、心得え、良質のサービスを提供する人間性豊かな医療秘書としての知識を学ぶ。また、医師や医療機関の経営者の活動を的確に補佐できるよう、専門的知識兼ね備えた医療秘書についての理解を深めることを目標とする。		
到 達 目 標			
成 績 評 価 方 法	検定前模擬試験と検定結果（95％）出欠席（5％）で評価をつける。		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	テキスト：(1) 「メディカルドクターズクラーク テキスト1～4」 ニチイ（学科） テキスト：(2) 「メディカルドクターズクラーク テキスト4」 ニチイ（実技） (3)演習：「医師事務作業補助技能認定試験受験のための技能認定試験問題集」ニチイ		

## 令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	診療情報管理士学科		2 年
科 目 名	医療管理各論Ⅰ・Ⅱ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	浅野 文章
時 間 数	前期：41時間 / 後期： 時間	実務経験：病院で6年間、診療報酬請求、医師事務作業補助、診療録管理等の業務経験を活かし、医療機関での就職に必要な知識・技術を習得できるよう講義する。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	<p>病院は医療の実践の場であり、医療の質の向上と経営の質の向上というテーマは、病院運営において車の両輪に例えられる大命題となっている。その病院を的確に維持、運営していく上で重要な、病院の経営管理をはじめとする基礎的な知識を身に付ける。</p> <p>社会保険制度としての医療保険・介護保険を理解し、診療報酬制度及び診療報酬請求業務までを学ぶ。これまでの出来高請求から、診断群分類（DPC）を活用した包括評価請求まで、診療報酬請求業務全般を知ることを通して、診療情報管理の重要性への理解を深めること。</p> <p>病院の経営管理、医療管理、安全管理、医療の質管理について講義</p> <p>診療報酬制度、わが国の診断群分類、診療情報管理における診療報酬請求データの活用、病院の統計資料、経営管理指標について講義</p>		
目 指 す 検 定 ・ 資 格	診療情報管理士認定試験（国賀資格に準拠）・診療情報管理士		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	教科書を使用した講義を行う。進行度合いに準じて問題集を解き進め、理解を深める。		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	病院組織の使命を達成、維持していくための確実な経営管理が必要であり、医療機関の組織機能は、様々な医療の専門職を有効に結びつけるための医療管理が必要である。近年、チーム医療を中心とした多職種協働の医療提供体制が注目されている、診療情報管理士が病院運営に関わっていく上で、十分に理解しておく必要性を学ぶ。		
到 達 目 標	診療情報管理士認定資格取得		
成 績 評 価 方 法	期末試験（95%）出欠席（5%）で評価をつける。		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	診療情報管理士テキスト、診療情報管理Ⅲ 2章医療管理各論Ⅰ（病院管理） 3章医療管理各論Ⅱ（医療保険・介護保険制度）		

## 令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	診療情報管理士学科		2年
科 目 名	コンピュータ概論	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	浅野 文章
時 間 数	前期： 時間／後期：25時間	病院で6年間、診療報酬請求、医師事務作業補助、診療録管理等の業務経験を活かし、医療機関での就職に必要な知識・技術を習得できるよう講義する。	
科目の目的と 講義内容	<p>【科目の目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療の現場はもちろん、社会人として身につけておくべきコンピュータの仕組み(基礎)について理解しすることで、コンピュータシステムの利用者として必要な知識を身に着ける。</li> <li>・医療の現場で医療の専門家と情報システム系の内部・外部の専門家との間をつなげる役割を担うための基本的知識を身に着ける。</li> </ul> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療情報技師基礎知識検定に準拠</li> </ul>		
目指す検定・資格	医療情報技師基礎知識検定		
指導方法及び 学生に期待すること	<p>【指導方法】</p> <p>問題演習を取り入れながら、他科目との関連性も意識して講義を行う。</p> <p>【学生に期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会で利用する情報機器及びシステムを把握し、活用できるようになる。</li> <li>・企業内や普段の生活において、安全に情報を活用するために、関連法規や情報セキュリティに関する各種規定に従った行動ができるようになる。</li> </ul>		
その他			
	後 期		
授 業 の 概 要	テキストに添って基礎理解を深める（ITパスポート試験のテクノロジ系の範囲を主とするが、ストラテジ系、マネジメント系の内容も適宜行う）		
到 達 目 標	基礎的な知識の習得		
成 績 評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出欠席（5%）</li> <li>・期末試験/確認テスト（95%）</li> </ul>		
テキスト・副読本	・医療情報の基礎知識 第15~20回医療情報基礎知識検定試験問題付		

## 令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	診療情報管理士学科		2年
科 目 名	健康医療情報学	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	浅野 文章
時 間 数	前期：時間 / 後期：17時間	実務経験：病院で6年間、診療報酬請求、医師事務作業補助、診療録管理等の業務経験を活かし、医療機関での就職に必要な知識・技術を習得できるよう講義する。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	日本の保健医療は1999年にいわゆる「電子カルテの三原則」が通知されて以降、電子化が進み今日では多くの医療機関で電子カルテが稼働している。この電子化により診療情報管理の業務は様変わりし、取り扱う情報の質、量とも大きく変化した。加えて、近年はAI、ビッグデータ、IoTをはじめとするデータ利活用に関連する新技術の進展があり、医療の分野は更に大きく変革することが予想される。そのような中で、本科目を学び、保健医療分野で活躍できる人財としての基礎力を身につける。		
目指す検定・資格	診療情報管理士認定試験		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	<p>【指導方法】</p> <p>自身の経験や学生の病院実習の経験に基づく内容を多く取り入れた指導とする。</p> <p>【学生に期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健医療情報分野の専門用語を理解し、医療施設で働くスタッフとして意思疎通に困らないようになる。</li> <li>・医療施設で、安全に情報を活用するために、関連法規や情報セキュリティに関する各種規定に従った行動ができるようになる。</li> </ul>		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要		診療情報管理士テキストの診療情報管理Ⅲ第5章(健康医療情報学)の内容を学生の病院実習の振り返りや事例等を踏まえながら学習する。	
到 達 目 標		診療情報管理士認定試験	
成 績 評 価 方 法		<ul style="list-style-type: none"> <li>・出欠席率(5%)</li> <li>・後期試験/確認テスト(95%)</li> </ul>	
テ キ ス ト ・ 副 読 本		診療情報管理Ⅲ(診療情報管理士テキスト)	

## 令和 5 年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	診療管理士学科		2 年
科 目 名	データベース演習	科 目 区 分	一般科目・専門科目
開 講 期	前期 後期 通年	担 当 教 員	浅野 文章
時 間 数	前期： 時間 / 後期：38 時間	病院で 6 年間、診療報酬請求、医師事務作業補助、診療録管理等の業務経験を活かし、医療機関での就職に必要な知識・技術を習得できるように講義する。	
科目の目的と講義内容	データベースの基礎知識からアプリケーション操作まで幅広く学び、Access を使ったデータベースシステムの構築を目指す		
目指す検定・資格	サーティファイ Access ビジネスデータベース検定		
指導方法及び学生に期待すること	Access の基本操作を中心に学習し、データベースの基礎知識から実践的な内容については練習問題を活用し、実践的なデータベース構築ができるようになる。		
そ の 他			
	後 期		
授 業 の 概 要	データベース管理システムの基礎を学ぶことで、実務に即したデータベースの実践的な作成技術を学ぶ。		
到 達 目 標	事例に基づいたデータベース作成手法を身に付け、Access による構築ができるようになる。サーティファイ Access ビジネスデータベース検定 3 級合格。		
成 績 評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出欠席 (5%)</li> <li>・ 期末試験/検定スコア (95%)</li> </ul>		
テキスト・副読本	Access2013クイックマスター ウィネット、Accessビジネスデータベース技能認定試験 問題集 (2013対応) サーティファイ		

## 令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	診療情報管理士学科		2年
科 目 名	RPA 開発	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	浅野 文章
時 間 数	前期： 時間／後期：20 時間	病院で6年間、診療報酬請求、医師事務作業補助、診療録管理等の業務経験を活かし、医療機関での就職に必要な知識・技術を習得できるよう講義する。	
科目の目的と 講義内容	<p>【科目の目的】</p> <p>人の手によって行われるパソコン上の作業をソフトウェアに組み込まれたロボットに代行させる技術を修得する。</p> <p>一定の手順やルールに基づいて行われているデータの転記やシステムへの入力を繰り返すような作業を自動化することで、業務効率化を提案できる知恵を身につける。</p>		
目指す検定・資格	特になし		
指導方法及び 学生に期待すること	<p>【指導方法】</p> <p>操作説明よりも実際に触れる時間を増やし、操作感を通して理解を深める。</p> <p>【学生に期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業でRPAを活用できるようになる。</li> <li>・企業で業務改善の提案ができ、実際に自らフローを作成することができる。</li> </ul>		
その他			
	後 期		
授 業 の 概 要	Power Automate Desktop の使用方法を学ぶ。		
到 達 目 標	Excel 連携、Web ホームページへの入力、メール一括送信のフローを作成できるようになる。		
成 績 評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出欠席 (5%)</li> <li>・期末試験/確認テスト (95%)</li> </ul>		
テキスト・副読本	プリント対応		